

平成 22 年度 教育課程編成にあたって

小 道徳

1 平成 22 年度に求められる取組

(1) 年間指導計画の作成

- ① 各学年段階にわたる一貫した重点内容（自立心、自律性、生命を尊重する心の育成）を明記した全体計画及び年間指導計画を作成する。
- ② 発達の段階に即した指導内容の重点化への配慮を指導計画上に一層明確化する。
例：低学年の重点内容
あいさつなどの基本的な生活習慣，社会生活上のきまりを身に付け，善悪を判断し，人間としてしてはならないことをしないことについて配慮するようにする。
- ③ 学習指導要領に 2 学年ごとに示されている内容項目は，いずれの学年においても指導しなければならないため，各学年の年間指導計画に該当する内容項目をすべて組み込む。
- ④ 新出の内容項目が，該当学年の年間指導計画に入っているかどうか確認する。

(2) 単元や教材の開発

先人の伝記や自然，伝統と文化などを題材とした魅力的な教材開発・活用を行う。ただし，現役のスポーツ選手など「人」を扱った教材開発や自作教材活用を行う場合には，教材としての適否を十分検討する。

(3) 配慮すべきこと

道徳の時間の授業を公開するなど家庭や地域との連携の充実を図る。

2 教育課程編成上，参考となる取組例

(1) 学校の特色を生かした重点的な道徳教育の展開を目指し，項目を工夫した全体計画例

学校教育目標，法的根拠，道徳教育の重点目標，教職員の願い，地域・保護者の願い，児童の願い，児童の実態，道徳の時間の指導の方針，各学年の重点目標，生徒指導，特色ある教育活動，豊かな体験活動，環境整備，家庭・地域との連携における指導の方針，各教科等における指導の方針を示す。これに加え別葉で各教科等の指導の内容，単元，時期，道徳の内容項目を表で示す。

(2) 6 年間を見通し，計画的，発展的指導を可能にした年間指導計画例

学年の基本方針，月・週・回（年度における何回目 of 道徳の時間か），主題名，内容項目，資料名・出典，主題構成の理由，ねらい，展開の概要（指導過程の概要：主な学習活動，中心発問・基本発問，指導方法），他の教育活動との関連など，これらを学年共通枠に明記する。

3 教育課程編成上の Q&A

Q1 年間指導計画に「心のノート」の活用を明記したい。今後の配布予定はどうなっているか。

A1 平成 22 年度は希望配布，平成 23 年度はweb 版「心のノート」を配信予定である。

Q2 仙台市で作成している著作物等で，道徳の資料として活用できるものはあるか。

A2 社会科副読本「わたしたちのまち仙台」や人権資料「認め合う心」の活用などが考えられる。活用に当たっては，内容項目を明確にし教科等との関連を押さえ，年間指導計画に位置付ける。